

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
203	地理総合	2	2 3	総合学科 工業科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	地理の情報や規則性・傾向性を読みとり、地理的な特色を理解・解釈している。地理的事象の地理に関わる諸事象について、多面的に理解し、諸資料から情報を効果的にまとめる技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が身についている。日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。

評価の方法

記述内容の点検、確認、分析

行動態度の観察、確認、分析

(定期テスト、小テスト、課題レポート、ノート・プリント等提出物、授業への取組状況 等)

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	地球上の位置と時差	地球上の位置と私たちの生活	緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		時差と私たちの生活	時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。	○		
	地図の役割と種類	地球儀と地図	球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		身の回りの地図	統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。	○		
5	現代世界の 国家と領域	地理情報システム (GIS) の活用	地理情報システム (GIS) の活用場面について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○
		現代世界の国家	国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。	○		
	グローバル化する 世界	日本の位置や領域	日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について理解している。	○		
		国家間の結びつき	国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、地域ごとの経済的な結びつきについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		貿易によって結びつく世界	世界の貿易について課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○
		さまざまな交通網の発達	交通機関や情報技術の発達による世界の変化を多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
6	世界の地形と 人々の暮らし	観光のグローバル化	観光のグローバル化、観光のスタイルについて理解している。	○		
		大地形と人々の暮らし	生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。	○		
		変動帯と人々の生活	変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		安定地域と人々の生活	安定地域の平野と生活への影響、安定地域の山地と生活への影響について理解している。	○		
		河川がつくる地形と人々の生活	河川がつくる地形と生活の関わりについてそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
7	世界の地形と人々の暮らし	海岸の地形と人々の生活	海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○
		氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	氷河地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わりについて理解している。	○		
	世界の気候と人々の生活	気温・降水と人々の生活	気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。	○		
		大気大循環と人々の生活	大気大循環・恒常風・季節風のしくみと生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		世界の植生と気候区分	植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について理解している。	○		
		熱帯の生活	熱帯と生活について、多面的・多角的に考察し表現している。		○	
		乾燥帯の生活	砂漠のでき方について多面的・多角的に考察し、表現している。 温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。	○		
		亜寒帯・寒帯の生活	亜寒帯・寒帯についてそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○
	世界の言語・宗教と人々の生活	世界の宗教と人々の生活	宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて理解している。	○		
	経済成長による人々の生活の変化 -東アジア-	東アジアの経済成長とその歩み	東アジアの経済急成長の歩みについて多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		経済成長による中国の変化	経済成長による生活の変化や経済格差、環境問題についてそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○
	モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 -東南アジア-	モンスーンの影響を受けてきた人々の生活	東南アジアの気候にはモンスーンが密接にかかわっていることを理解している。	○		
		気候を生かした農業と人々の生活	東南アジアの自然環境が人々にどのような影響を与えているか、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
ヒンドゥー教と人々の生活の関わり	インドの歩みとヒンドゥー教	ヒンドゥー教徒の変化する生活について多面的・多角的に考察し、表現している。		○		
	宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活	宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について理解している。	○			
産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-	世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源	産業構造の変化と影響について多面的・多角的に考察し、表現している。		○		
	世界の食卓に影響を与える農業	穀物メジャー、適地適作の農業と大規模農業のについて理解している。	○			
	産業の発展を支えてきた移民の力	移民国家としての発展、生まれた文化について、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○	
地球的課題と国際協力	地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題	地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて理解している。	○			
		地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○		
		地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○	
1	日本の自然環境	日本の地形	日本の地形の特徴と、災害との関係性を理解することができる。	○		
	地震・津波と防災	地震・津波による災害	地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、多面的・多角的に考察し、表現している		○	
	火山災害と防災	火山の恵みと災害	火山の分布、恵み、災害の特徴について、多面的・多角的に考察している。		○	
	気象災害と防災	さまざまな気象災害	地域で異なる気象災害について理解することができる。	○		
2	自然災害の備え	ハザードマップの作成	各種GISを使用し、オリジナルのハザードマップを作成することができる。	○		
			オリジナルのハザードマップから各種災害が発生した際の適切な避難場所を策定することができる。		○	
			作成した地図から読みとれる地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○